

市議会議員・県議会議員選挙
投票日は4月9日です。

今回の選挙から区ごとの選挙となります。そして、あなたがお住まいの区から立候補した人に投票することになります。



千葉公園 (中央区)

可決した主な議案

新年度予算は
総額5,934億7千万円に

地取得費や合併処理浄化槽設置補助金など、八十五億二千五百万円を追加しました。これにより一般会計の予算総額は、三千百五十億二千百万円になりました。

予算
平成6年度一般会計補正

社会福祉施設整備補助金、仮称鎌取第二中学校用地取得費

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

平成6年度一般会計補正
計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

《予算関係》

平成7年度各会計予算

平成7年度各会計予算は、保健、医療、福祉などのソフト面の拡充、道路、公園、下排水などの生活関連施設の整備、地域経済の活性化と中小企業金融対策の強化、区行政や防災対策の充実などを図るため、前年度と比較して9.9%増の総額五千九百三十四億七千万円を計上しました。このうち、一般会計予算については、前年度と比較して4.8%増の三千百五十六億二千万円に、特別会計(企業会計を含む18会計)については、16.3%増の二千七百七十八億五千万円になっています。

《条例関係》

千葉市国民健康保険条例の一部改正

保険料の賦課限度額を四十八万円から五十万円に改定するなど、条例の一部を改正します。

千葉市違法駐車等の防止に関する条例の制定
違法駐車などを防止することにより、良好な交通環境を確保し、市民の安全で快適な生活環境の保全のため、条例を制定します。

乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部改正
助成の範囲を拡大するため、条例の一部を改正します。

千葉県身体障害児福祉手当支給条例の一部改正
身体障害児、精神薄弱児、ねたきり老人、痴呆性老人、心身障害者の福祉手当の額を引き上げるため、条例の一部を改正します。

《土地の取得》
仮称千葉市総合福祉センター・ちば女性会館の用地として、中央区の千葉寺土地区画整理事業地内の土地を住宅・都市整備公団から三十四億七千二百万円で購入します。

平和公園の拡張用地として、若葉区多田町の土地を三億五千三百万円で購入します。

《工事請負契約》
仮称三角町清掃工場管理棟の新築工事を、二億七千三百万円で行います。

第1回定例会のあらまし

平成7年第1回定例会が、2月14日から3月3日までの18日間の日程で開かれました。

この定例会では、平成7年度各会計予算および条例の制定など市長提出議案67件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。

さらに、意見書など議員提出議案7件、請願1件を審議したほか、各会派の代表質疑が7名の議員により行われました。

なお、平成7年度各会計予算議案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

代表質疑から

2月17日(市民自由クラブ・市政会)、20日(新政クラブ・千葉市議会公明・日本共産党千葉市議会議員団)、21日(日本社会党千葉市議会議員団・市民ネットワーク)の3日間にわたり、7会派の代表から平成7年度予算案などについて質疑が行われました。なお、今回の阪神・淡路大震災に伴い、防災関係の質疑が、全会派よりありました。

市民自由クラブ 新年度予算における防災対策

Q 阪神・淡路大震災を教訓として、新年度予算での防災対策の推進について伺う。

A 阪神・淡路大震災を教訓として、予測のできない地震に備えるため、緊急かつ重点的に対応した主な事業の総額は、14億円余である。その内容は、防災マ

市政会 今後の財政運営について

Q 21世紀に向けての都市づくりに進んでいくには、さらにも多くの財政需要が生ずる。しかし、市税など自主財源が伸び悩む非常に厳しい財政状況が続くものと思われるが、今後の財政運営をどの様に進めていくのか。

A 国や本市をはじめとした、いすれの地方公共団体も、厳しい財政環境の中で、財源の確保に苦しんでいる。今後は、経済動向と市民要望に即応した強力的な財政運営に心がけ、市税収入をはじめとする財源確保の方策を検討するとともに、歳出面での徹底した事務事業の見直しによる経費の削減合理化、行財政全般を通じた減量化、効率化を一層推進し、財政構造の健全性に努めていきたい。

千葉市議会公明 災害時用の飲料水の確保について

Q 本市は、耐震性井戸貯水槽を既に槽などを設置しているが、大災害時には対応しきれない。各避難所への耐震性井戸の設置を含め飲料水の確保が必要と思うがどうか。

A 耐震性井戸貯水槽を既に地域の防災拠点となる区役所や消防署などの8カ所に設置し、ほか、避難所として予定されている小学校のプールなどの水を飲料水に転換する過剰水を16カ所確保している。また、災害時には、避難所などへの給水は県水道局と協力して実施する計画であるが、

千葉市議会公明 千葉市議会公明 災害時用の飲料水の確保について

Q 本市は、耐震性井戸貯水槽を既に槽などを設置しているが、大災害時には対応しきれない。各避難所への耐震性井戸の設置を含め飲料水の確保が必要と思うがどうか。

A 耐震性井戸貯水槽を既に地域の防災拠点となる区役所や消防署などの8カ所に設置し、ほか、避難所として予定されている小学校のプールなどの水を飲料水に転換する過剰水を16カ所確保している。また、災害時には、避難所などへの給水は県水道局と協力して実施する計画であるが、

新政クラブ 第6次5か年計画について

Q 第6次5か年計画策定の全体スケジュールと策定作業の具体的な進捗状況を伺う。計画の中、市民の声を幅広く反映するため、区民懇話会以外に何か考えているか。

A 昨年5月に策定方針を決定して以来、今年12月の計画決定をめざして作業は順調に進んでいる。概ね5、6月頃を目安に、ある程度の素案のものを、9、10月頃には計画骨子案を報告したい。なお、区民懇話会で出された意見を計画に反映させるため、努力したい。さらに、広報活動で得られた市民の意見や議会の意見も集約し、計画に反映させていきたい。

公共施設の耐震診断について

Q 公共施設の耐震診断の実施状況および今後の実施予定についての考えを伺う。耐震診断の結果により建築物の耐震強度が不足している場合の対応策について伺う。

A 昭和56年6月の建築基準法改正以前に建築された、耐震診断が必要な施設は、学校、病院など280施設あり、平成6年度までに85施設の診断を完了した。また、平成7年度中に小・中学校65校を実施し、小・中学校の耐震診断を完了する予定である。さらに、消防の施設20カ所を実施する予定で、残りの施設についても順次対応したい。なお、公共施設の耐震性に不足がある場合は、避難場所に指定されている小・中学校をはじめ、医療施設などを優先して、2次診断や補強対策について協議していきたい。



阪神・淡路大震災(神戸市)

日本共産党千葉市議会議員団 大型プロジェクト優先から市民生活優先へ

Q 業務核都市などの大型プロジェクトから、地震対策や市民生活優先の財政運営に切り替えるべきかと思うがどうか。

A 本市は県都として、また、業務核都市、政令指定都市としてその果たすべき役割は一段と高まってきている。この役割に応えるとともに、市民の就業の場の創造などには、都市再開発事業などによる都市機能の充実が欠かせない。7年度予算は、阪神・淡路大震災の教訓を基に、防

市民ネットワーク 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

市民ネットワーク 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

市民ネットワーク スクールソーシャルワーカーの配置は

Q いじめや不登校の問題だけでなく、様々な問題に対応するため第三者として相談できる、児童心理を学んだスクールソーシャルワーカーを配置してはどうか。

A 不登校、いじめ、非行などの問題は、学級担任だけに任せるのではなく、校長を中心とした全教職員が協力して取り組むとともに、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

市民ネットワーク 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

日本社会党千葉市議会議員団 障害者や高齢者の住宅改造費助成について

Q 住宅改造費の助成制度が、6年度より始まり、7年度は障害者や高齢者の身体機能の程度などに応じた助言をするため、住宅改造の相談業務を行う。相談業務のあり方は、現在検討しているが、基本的には学識経験者、一級建築士などで構成され、障害者などの住宅改造をめざして研究などをしているグループに業務を委託する考えである。相談窓口の設置場所は、高齢者総合相談窓口の業務を考慮し、提案の趣旨を踏まえ研究したい。

日本共産党千葉市議会議員団 動植物などの実態調査について

Q 自然破壊などで、動植物の生態系が、変ってきた。本市では、動植物の実態調査をしているが、その実態と今後の対策を伺う。

A 平成4年度から4年計画で、生物の生態の全体像や自然環境の実態を調査してきた。4年度は文獻調査を、5、6年度は動物では、ほ乳類、昆虫類などの生態状況を調査した。7年度は調査結果の解析や自然環境の保全と復元、貴重な動植物の生息環境や生態系保存地域の保護、保全方針を検討し調査報告書を中心とした。今後は報告書を踏まえ、自然と共生するまちづくりをめざして、地域生態系の保全、貴重な動植物の生息環境の保護などを実現する方策を検討していきたい。

日本共産党千葉市議会議員団 地震に強い街づくりを

Q 液状化対策への取組みと消防・消火力の強化による地震に強い街づくりについての見解を伺う。

A 災害関係については、6年度の6倍強と大幅な予算を計上し、地震に強い街づくりに取り組むとともに、日常生活に密着したきめ細かな施策と大型プロジェクトをあわせて推進し、業務核都市にふさわしい魅力ある街づくりに努める。

日本共産党千葉市議会議員団 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

日本共産党千葉市議会議員団 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

日本共産党千葉市議会議員団 非常時の医療体制などは

Q 地震など大きな災害は、いつ起こるか予測が大変困難である。そこで、非常時の医療に関して、医師会などとの様々な体制をつくるのか。医薬品などの備蓄もあわせて検討しているのか。

A 災害時は、医師会との協定により、市が設置する各救護所、医師、看護師などの医療救護班を編成し、対応する。また、必要に応じて保護者や関係諸機関と連携を図りながら対応している。7年度は、教育相談員を3名増員することによって、学校との連携や指導助言のあり方などについて見直し

可決した意見書・決議(要旨)

議員提出議案として5件の意見書および1件の決議を上程し、次の5件を可決しました。

可決した意見書・決議は、国などの関係省庁に提出しました。

兵庫東南部地震(阪神・淡路大震災)の災害対策に関する意見書

兵庫東南部地震に関し、災害復旧、復興のための特別法の制定など、強力な援護措置を迅速かつ積極的に講ずるとともに、今後、地震予知体制の充実強化、広域的な緊急救援体制の整備など、災害防止対策に万全の措置を講ずるよう要望する。

義務教育費の国庫負担制度の堅持に関する意見書

今後、地方へ新たな負担転嫁をすることなく、義務教育費国庫負担制度を今後も堅持し、教育の機会均等とその水準の維持向上を図られるよう要望する。

「保険で良い入れ歯」の実現を求める意見書

「保険で良い入れ歯」を実現するため、医療費改定で据え置かれた歯科医師の診断・型取り・噛み合わせの技術料および少数歯欠損義歯(部分入れ歯)の製作料を適正に評価することなどの措置を講ずるよう要望する。

「地方分権の推進に関する法律」の早期制定を求める意見書

「地方分権の推進に関する法律」の早期成立を図るとともに、地方分権を推進するために十分な機能を有する地方分権推進委員会の設置等、実効ある方策を盛り込んだ法律の制定を要望する。

暴力団排除に関する決議

千葉市議会は、全市民とともに、市民生活のすみずみから暴力団を追放し、暴力のない真に豊かで住みよい都市「千葉市」の推進に一層努力することを表明する。



救助・消火活動(防災訓練より)



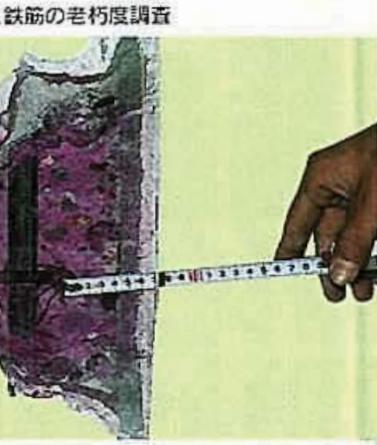
医療救護活動(防災訓練より)



サワオグルマの群生地



中央公園プロムナードとして整備する千葉駅前大通り



コンクリートと鉄筋の老朽度調査

委員会審査から

常任委員会

各委員会が2月27日に開かれ、付託された44議案について審査しました。

そのほか、請願1件、陳情6件を審査し、採択送付1件、不採択3件、継続審査3件となりました。

総務委員会

(所管)総務局、企画調整局、財政局など

一般会計補正予算、市庁舎整備基金条例の制定など、議案13件、陳情1件を審査し、新庁舎の建設スケジュールなどについて質問がありました。

▼情報公開条例の改正を求める陳情 **不採択**

民生教育委員会

(所管)市民生活局、教育委員会) 違法駐車等の防止に関する条例の制定など、議案20件、陳情2件を審査し、違法駐車防止重点地域における具体的な防止策と効果などについて質問がありました。



事故のもと違法駐車

環境消防委員会

(所管)環境衛生局、清掃局、消防局、水道局)

仮称三角町清掃工場管理棟新築工事請負契約など、議案6件を審査し、工場から排出される排気力



8年度完成予定の仮称三角町清掃工場

スの状況を示す表示板の設置予定などについて質問がありました。

経済建設委員会

(所管)経済政策局、建設局など) 一般会計補正予算など、議案4件、請願1件を審査し、生実川の改修事業に関する用地買収の進捗状況などについて質問がありました。

▼JR稲毛駅前に計画中の15階建共同住宅(分譲マンション)の計画縮小に関する請願 **不採択**



改修が進む生実川(蘇我町2丁目地先)

都市下水委員会

(所管)都市局、下水道局) 都市計画土地区画整理事業特別会計補正予算など議案8件、陳情3件を審査しました。

▼間法道場・千葉光善寺新築工事反対に関する陳情 **採択送付**

▼動物公園友の会設立に関する陳情 **不採択**

特別委員会

廃棄物処理問題対策特別委員会

1月23日に開かれ、産業廃棄物対策および最終処分場の確保などについて協議しました。

大都市税財政制度調査特別委員会

2月13日に開かれ、平成7年度国家予算に関する要望の経過報告などについて協議しました。

予算審査特別委員会

平成7年度一般会計および特別会計予算案を審査するため、2月21日に、全議員で構成する予算審査特別委員会(2分科会)を設置し、延べ6日間にわたり審査しました。また、予算案や市政に関する総括質問が、3人の議員により行われました。

指摘要望事項

- 委員長 穴倉 清蔵
 - 副委員長 佐久間 武仁
 - 第一分科会 会長 竹内 正巳
 - 同 副会長 米持 克彦
 - 第二分科会 会長 佐々木 久昭
 - 同 副会長 鈴木 俊輔
- 3月2日の予算審査特別委員会では、2分科会での質疑や意見について報告が行われ、各分科会の新年度予算を原案どおり可決しました。

次の9項目は、予算審査特別委員会でも市長に要望したものです。

- 市債・債務負担行為については、残高が年々増加する傾向にあるため、将来の財政運営を考慮した、適正な活用を努めること。
- 阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地域防災計画の見直しを図り、都市型災害に対応できる防災体制の確立を急ぐこと。

また、公共建築物の耐震診断を早期に実施するとともに、地盤の液状化対策についても、市としてとり得る最良の方策を検討すること。

- 放置自転車対策については、駐車場整備に力を尽くすことはもとより、利用者に対するPRの徹底を図るとともに、地元自治会や関係機関との緊密な連携をとりながら、より実効ある対策を講じること。
- 高齢化社会の到来に対応した、ホームヘルパーの増員やホームヘルプサービスの拡充を図り、在宅福祉の充実に努めること。
- 畜場会館の早期建設のため、建設地周辺の地域環境整備を推進し、住民合意の形成に努めること。
- 都市モノレール事業におけるJRへの区分地上権の設定および対価補償などについて、議会に対する説明がなされないまま今日に至ったことは遺憾であり、今後、主要な事務事業の遂行に当たっては、議会に対する報告に遺漏なきを期すこと。
- 公共下水道事業の推進に当たっては、予算の大幅な増と執行体制の充実を期するとともに、全庁的な視点から、農業集落排水事業および合併処理浄化槽設置事業との調整を図り、水洗化の普及に努めること。
- 大地震時の初期消火および救急救命体制を確立するため、消防力の充実に努めること。
- 教育環境の変化に的確に対応できる資質・力量を備えた教職員の育成を図るため、教職員研修の充実に努めること。

総括質問

主な質問項目

- 災害に強い街づくりについて
- 清掃行政について
- 福祉行政について
- 意思能力が十分でない知的障害や痴呆性高齢者について
- 医療機関の配置について

～議会のしくみ⑧～ 請願と陳情

皆さんが、市の事業(業務)などに関し、要望・希望をする方法として、請願・陳情があります。請願・陳情は、千葉市民だけでなく、だれでも、いつでも議会に提出することができます。請願は、議員の紹介があるものをいい、ないものを陳情と呼んでいます。提出された請願・陳情は、常任委員会で審査した後、請願は本会議で可否の結論を出します。結論が得られた請願・陳情は、提出者に通知すると共に、市長などに送付します。

(記載例)	(本文)
年月日 (あて先) 千葉市議会議員 〇〇〇に関する請願者(陳情者) 請願(陳情)者 住所 氏名 印 ※紹介議員	1件名 2内容

※陳情の場合は、紹介議員は必要ありません。

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成7年第1回臨時議会は5月17日(水)に、平成7年第2回定例会は6月8日(木)に開会する予定です。本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。

点字版とテープ版の配布

目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、「ちば市議会だより」の点字版とテープ版を発行しています。配布を希望される方がいましたら、ご連絡ください。

編集後記

今回の表紙は、桜満開の「千葉公園」を取り上げました。この公園は、中央区にあり、JR千葉駅から歩いて約15分、モノレール千葉公園駅のすぐそば。野球、ボート、プールなどが楽しめる市街地の憩いの場となっています。

公園内は緑がいっぱいで、春には花見、夏には約二千年以前の夢から自覚めたオオハスの花の観賞、秋は樹々の葉が色付き、訪れる人々を魅了させてくれ、とても市街地の真ん中にある公園とは思えない趣があります。

今回は、第1回定例会の様をお伝えしましたが、特に、多くの議員が阪神・淡路大震災の教訓を本市に生かしていくには、という観点から、市の見解を問いました。

今後とも議会の動きを市民の皆様にも、より分かりやすく親しみやすい形でお届けしたいと考えております。

お読みになり、ご意見、ご感想がありましたらお聞かせ下さい。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎(043) 245・5472



千・葉・市・の・花・木
きょうちくとう